

教科	算数	単元名	すくすくウォッチ（わくわく問題）
----	----	-----	------------------

本時で育む主な情報活用能力

E-STEP 3

該当番号の詳細内容は「大阪府情報活用能力ステップシート」から確認できます。



本時のねらい

・今年度、すくすくウォッチのわくわく問題で出題された算数に関わる問題について、ICT 端末や紙媒体を活用して、個別最適な学びと協働的な学習を意識した授業展開により、情報量の多い問題を解くにあたり、自分自身で必要な情報のみを選択する力を身に付ける。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

・問題冊子の見開き 2 ページにわたる情報量の多い問題を、「資料」「登場人物の発言」「問い」の 3 つに分類分けをして発表ノートに載せることで、子どもたちの思考の整理に役立てる。
 ・授業後半の練習問題の時間（やってみようの時間）では類似問題（令和 5 年度のわくわく問題）を取り上げ、自らが必要な情報を選択して解くことができるかを確認し、理解を深める。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・発表ノート（SKYMENU Cloud）・大型 TV

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○大型 TV に映すスライドから、変速機付き自転車の特徴を確認する。（ギア、ペダル、後輪、歯数）【写真 1】 ○本時のめあてを確認する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">めあて：資料や発言から問題を解くことができる。</div>
展開 (25 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○問題を解く。（個人） ○問いに対しての自分の考えを説明する。【写真 2】（グループカフリー） ○全体で考えを共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表ノートか紙媒体のどちらかを使用するかを選択させる。 →発表ノートでは、「資料」「登場人物の発言」「問い」の 3 つに分類分けをしているので、思考を整理しやすい。紙媒体では、問いまでのすべての情報が 1 枚で確認できるので見やすい。 ・端末を使って、解答となる根拠（与えられた情報のどの部分か）を提示しながら交流することを意識させる。
まとめ (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> ○練習問題を解く。（やってみよう）【写真 3】 ○ふりかえりをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表ノートか紙媒体かのどちらかを選択させる。 →今回は発表ノートでも、紙媒体と同様のすべての情報が 1 枚に書かれてあるものを配付している。（実際のテストは紙媒体）

1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】問題を解く前の知識の把握



【写真 2】解に辿りつく根拠となるものを交流で伝える。



【写真 3】練習問題を解くにあたって端末か紙媒体かのどちらかを使用するかは子どもの判断

児童生徒の反応や変容

・発表ノート、紙媒体のどちらの活用でも、多くの情報量から必要なものだけを読み取る姿が見受けられた。交流の時間には、解に辿りつく資料や登場人物の発言に着目した交流が見受けられた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・「情報活用能力」「読解力」「言語能力」の育成にむけた授業展開を意識する中で、より多く子どもに委ねる授業展開の方がこの 3 つの能力の育成には適していると感じた。例えば、問題を撮影機能を活用して保存し、その中から必要な情報だと考えたものを、トリミング機能などを活用して切り取らせ、その部分の情報を選んだ根拠を交流させる活動などが考えられる。